

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 33 号	氏名	山内基弘
学位審査委員	主査 副査 副査 副査	朝長万左男 関根 一郎 岡市 協生 松田 尚樹	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は放射線照射後の p53 蛋白質の蓄積が、ATM 蛋白質依存性のリン酸化に依存するか否かを明らかにするために、セリン等の部位をリン酸化されないアラニンに置換する方法で検討したものであり、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 セリン15、スレオニン18、セリン20をリン酸化されないアラニンに置換した細胞において p53 タンパク質の蓄積を検討した方法は、じゅうぶんに妥当である。			
3 解析・考察の評価 アラニン置換によって放射線照射後の p53 蛋白質の蓄積状態は不変であった。この観察は ATM 依存性のリン酸化による安定化にもとづくものではないことを示唆しており、従来の報告とは異なる知見が得られた。この結果は、ATM 蛋白質が p53 自体ではなく、それ以外の蛋白質のリン酸化を介して p53 蛋白質を安定化している可能性を強く示唆している。			
以上のように本論文は放射線応答に於ける p53 蛋白質の分子動態に関する研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			